

## 令和6年度授業紹介「臨床推論演習Ⅱ」

### 3年次の実習場面を活用した演習 —老年看護学・在宅看護学に焦点を当てて—

臨地実習を終えた看護学科3年生が、病院・施設や自宅で療養されている高齢者の看護ケア場面に焦点を当て、臨床推論・臨床判断のプロセスを探求しました。「皮膚トラブル判断」「しびれ軽減ケアの判断」「倦怠感に対する必要な介入の判断」「起立性低血圧時の対応と判断」など。実習で気がかりだった場面も、演習で落ち着いて振り返ることで『その場ですぐ観察すべきこと』『どれくらいの緊急性か』『患者さんの安全・安楽を考えてすべきこと』など、看護学生としての判断・行動とその理由や根拠を深めることができました。看護師としての臨床推論・臨床判断の特徴は、身体面だけでなく精神面・社会面・生活面の情報を含めた判断であることを、演習を通して学ぶことができました。

(臨床推論演習Ⅱ担当教員一同)

